

# 地域活性化起業人制度を活用した 企業人材の受入れについて【釜石市】

資料 4 - 2



SoftBank

## ○地域活性化起業人制度【総務省】

- ・三大都市圏に在る企業から一定期間、社員を受入れ、そのノウハウや見地を生かし、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらう制度
- ・派遣元企業に対する負担金など、起業人の受入に要する経費は特別交付税措置

○派遣元企業／氏名：ソフトバンク(株)／鈴木 清志氏

○釜石市における配置先：総務企画部総務課

○派遣期間：令和2年8月～ 令和4年3月

# 地域おこし起業人による庁内業務DX推進について

資料 4 - 2

## ○コアミッション

- ・庁内DXを市役所職員として、内部から企画立案
- ・庁内DXとは『 職員の負担を低減しつつ、市民サービス向上 』

## ○取組内容

- ・庁内業務の調査・分析や庁内共通システム導入を伴う基本計画策定を行う
- ・庁内の業務改革による人的資源の有効活用及びデータ利活用による政策への貢献

## ○取組成果

- ・庁内の業務分析、可視化及び改善提案
- ・庁内DXのビジョン策定、企画提案
- ・庁内DXの基本計画策定に伴う公募の実施

# AI配車システムを活用したデマンド型乗合バス 「しわまる号」の運行【紫波町】

資料 4 - 3

- ・運行事業者の運転手不足により、H15から運行していたコミュニティバスの廃止を余儀なくされ（R2.3月）、町民の生活の足の確保が緊急の課題になる。
- ・コミュニティバス運行時からの改善要望を踏まえ、従来の方式に縛られず、路線と時刻表を設定しないフルデマンド方式のデマンド型乗合バスをR2.4月からスタート。
- ・コロナ禍においても利用は好調。R3.3月は今年度最高の1,740人が利用。

## ○配車システムにAIを活用した東北初の事例

10人乗り 3台  
ジャンボタクシー

×

地元タクシー  
事業者

×

AIシステム  
未来シェア

・AIによる高速計算でオンデマンド・リアルタイムの乗合配車が可能になり、オペレーターの負担が軽減。



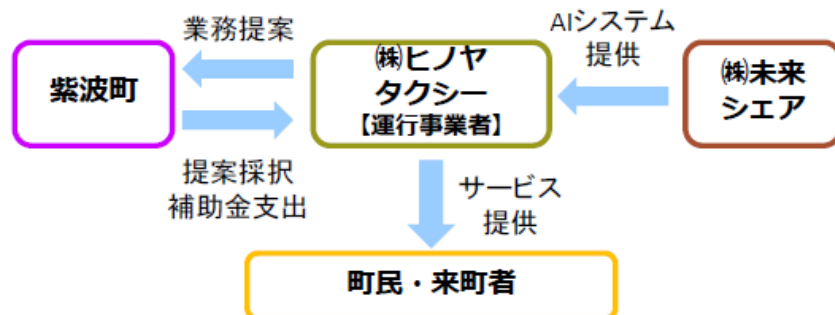
・AIの最短ルート計算によって、コミュニティバスに比べて乗車時間の短縮にも効果。



・各車搭載のタブレット端末で走行ルートを指示。土地勘がなくても運行可能。ドライバーの負担も軽減。



## ■デマンド型乗合バス運行体制



## ■初年度（R2）の実績

利用者総数：16,127人（最大1,740人/月）  
居住地別利用率：中央37%、西部36%、東部27%  
乗合率：54%

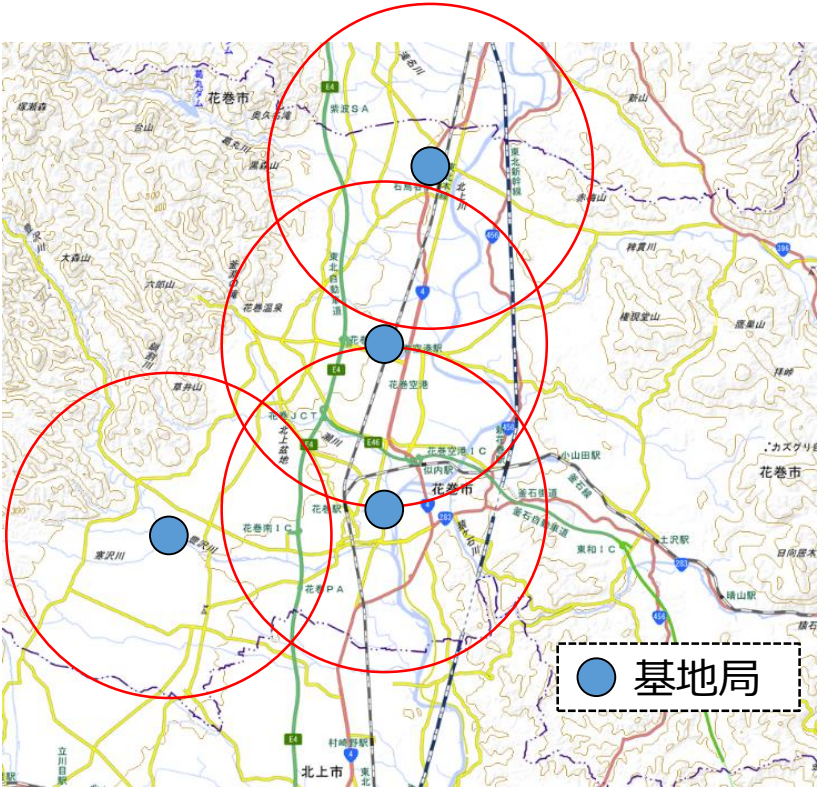
## ■特徴的な利用

小学生のみ（習い事）、子育て世代（ベビーカー持参）、町外からの来訪客

■課題 WEB予約の割合を高める

- 市内平坦部を中心に東北の自治体・J Aで初めてRTK-GPS地上基地局を設置し、誤差±2 c m程度の高精度位置測位情報環境を無償で提供。
- 各種実演会、体験試乗会の開催、国庫補助事業の活用、市単独補助事業のP Rの推進により、近年、スマート農業機器の導入件数が急激に伸びている。

GPS基地局の分布図



※ 1 3 経営体（総経営面積：9 7 6 ha）で市が設置したR T K - G P S地上基地局を利用している。

市単独補助事業

補助内容	補助対象者	補助率等
① G P Sガイダンス ② 農業用自動操舵システム一式（内蔵型也可） ③ 農業用ドローン本体 ④ ロボット草刈機	① 認定農業者 ② 認定農業者等で組織する団体 ③ 集落営農組織 ④ 地域農業マスタープランの中心経営体（位置づけられることが確実な者を含む）	補助率：3/10 （上限：100万円）
農業用ドローンの教習費用		補助率：1/2 （上限：10万円）

【市内スマート農業機器の導入状況（国庫事業、市単独事業、自費導入）】

※令和2年度末現在

	自動操舵システム	G P Sガイダンス	収量コンバイン	ドローン	ラジコンボート	ロボット草刈機	合計
導入件数	2 0 件 （国9、市9、自費2）	1件 （市1）	4 件 （国4）	2 7 件 （国11市16）	1 件 （国1）	4 件 （市4）	5 7 件
経営面積	1,258 ha	90 ha	449 ha	881 ha	214 ha	2 ha	2,894 ha